

々です。親切で同情心が厚いはずの人達です。しかし彼等は、傍で冷汗を流して苦しんでいる病人を見ても無関心をよそおい、自分達だけのおしゃべりに夢中になっていました。やがて停留所につき、バスを下りる人がいたので座席が二つほど空きました。するとどうでしょう。その座席に病人をやすませずに、自分達の仲間である祖谷の人をかけさせようとしたのです。あまりの自己中心のエゴイズムに、私もすっかり義憤を感じ、教師根性をまる出しにして思わず「病人をかけさせなさい。」と怒鳴ってしまいました。自分で自分の出した大声に驚くぐらいに。

確かに祖谷の人々は親切で、お互いに助け合っているのでしょう。けれど、この仲間を一步出れば、もう縁なき衆生なのです。他人がどんなに苦しもうが嘆こうが、一切おかまいません。この様な仲間意識が外に向っては排他主義となり、内に向っては村八分の現象などとなるでしょう。そして、これはともすれば人間の陥りがちな弊害なのです。この時に私は聖書の中にある「善きサマリヤ人」の話思い出しました。2千年前の昔、狭い仲間意識に凝り固まっていたユダヤ人を叱られて、博愛を説かれたイエスの言葉の偉大さをしみじみ考えました。

さて、地理を専攻される皆さん達は、狭い地域や仲間意識を超えて、広い視野で物事を眺めることが出来るのです。またそれが地理的なものの見方だと思います。狭い仲間意識は人々の心に垣根をつくり、誤解を生じ易いのです。そして、時には争いや戦争にまで発展する要素を含んでいます。だから地理学を専攻される皆さんは、その意味で素晴らしい学問を選ばれたこととなります。また一方その様な学問を専攻する者の責任として、人間社会の狭いこの様な弊害に陥ることなく、広い視野で物事を観察し判断して、社会のためそれぞれの分野で活躍される必要があると思います。

歴 史

竹 内 啓 一

お茶大に講義に来るようになって、これで3年目、したがってこの原稿を編集子に求められるのも3回目、2度あることは3度とかいって横着をきめこむほどの心臓もないので今回は筆をとった次第。となれば、やはり言い訳からはじめなければいけない。

第1回目ときは、まったくの日和見、乃至は怖気づいたため。地理学の勉強をするのに女性ばかり集まる理由がどうしてもわからず、したがってそれだけでもお茶大地理学科という存在は不可解で不気味なのに、何か随筆みたいなものを書けとってきた。随筆などというものは、おつにす

まそうが、八方やぶれになろうが、いずれにせよこちらの手の内を皆みせてしまうことなのだから、これは何か大変な悪だくみがあるにちがいないと、疑心暗鬼の心境におちいっているうちに、しめ切り期日がすぎてしまった。

第2回目、すなわち昨年度は大学紛争の最中。10年あまり、自分なりに、いっしょうけんめい地理学をやってきた、あるいは、地理学を破壊してきた。だから、学生諸君から、今さら、お前の地理学とは、お前の学問研究とは、と「根源的」に問いかけられたからといって、今にわかに目がさめたり、過去の一切を清算したりするようなことはないはずだ、と考えながら、連日勤務大学の学生諸君に対応していた。

あけ方までの教授会や団交でへとへとなっていた上に、丁度、私が代表幹事をしていた学会の事務局が、事務局のあった大学の学生諸君に封鎖されたので、学会の事務を何とか継続し、図書・備品などの学会の財産の安全を考える心配までしなければならなかった。大学は物理的に大損害をうけ、学会は、機能麻痺におちいって粉砕されたまゝであり、当時、私の肉体も脳味噌も解体寸前であったから、あの頃この雑誌のための原稿を書いたら、こんなに平和な雑誌にはまったくそぐわない、何かとんでもないことを書きだしていたにちがいないから、最後の自制心を発揮して、ふたたび執筆を遠慮申し上げた。

私を体制の走狗とののしり、お前たちを解体してやるぞと呼んだ諸君との真の対決は、しかしながら、まだはじまったばかりだと思う。あんなチャチな暴力で解体してしまうようなものだったのなら、それはやはりいかがわしく、うさんくさいものだったにちがいない。だから権力によらずしてそれが解体しないことを示さなければいけない。うみだしたものによって、すなわち事実によって、誰がほんとは体制の走狗なのか示そう。そんなことを、反動の小イデオログとして、つぶやき、うろちょろしている今日この頃である。

リビアのトリポリの近代都市の部分は、ファシズム時代、ムッソリーニによるイタリアのアフリカへの膨張政策のなかで建設されたまったくイタリア風の町である。1965年に旅行した時、そこには、まだ約5万人のイタリア人コロンの人がいたが、イタリア人人口は最盛時の半分以下で町はうらぶれ、イタリア人は、何か負け犬のように小さくなっていった。そこの小さなイタリア料理店であった一人の老人。彼は南イタリアの小農民出身で、一生かかって、小さな財産をつくりあげ、この町に店をもっていた。「しかし、ここの連中が私たちをにくむ気持はわかります。私たちは、やはり、力によって、彼らの土地をうばい、イタリアの武力を背景にして、私たちの地位を確立したのですから。」すこし、うちとけると、この老人は、このように語った。昨年、リビアに軍事政権が成立し、全イタリア人が、着のみ着のまゝで本国に追放されたという新聞記事をみて、まずおも

いだしたのは、あの老人のことだった。負け犬の自己否定は完結した。彼の一生の努力の結晶は彼が、あらかじめ理解していたように収奪されたのだ。

外国製・掛地図・地図帳

地図・教育・教材にフィリップ社製掛地図と各国の地図帳をおすすめします。

Philip's World.	122×180	1 : 2,400,000	¥ 8,000
" Asia.	178×180	1 : 600,000	8,000
" Africa.	173×119	1 : 750,000	8,000
" Europe.	157×175	1 : 300,000	8,000
" Australia.	122×178	1 : 300,000	8,000
" N. America.	150×119	1 : 650,000	8,000
" S. America.	178×119	1 : 600,000	8,000
The times atlas of the world. in one volume. (英)			15,600
Pergamon World Atlas. (英)			17,500
Rand McNally International Atlas. (米)			11,980

その外世界各国の地理書・地図帳・官製地図をとりそろえております。

地理書・地図専門輸入

内外交易株式会社

(150) 東京都渋谷区広尾一丁目7の3の107 TEL. 東京 (03) 4 0 0 局 2 3 2 6